

各議案にて、議長より挙手による質問を受け付けたところ、以下の通り質疑応答がありました。

**<第一号議案> 2023年度事業報告並びに決算及び監査報告について**

- (1) 広報費として計上していた動画作成費 100 万円の執行を拒否されたと受け止めています。最高決定機関である総会で決定したことを理事会が否決したと認識しており、その理由を知りたいです。補助資料の回答は質問側の発言意図と内容が異なるため再度質問をしています。（以下、質疑の記録においては、質問者を「◎」、理事会を「●」と記載します）
- 昨年度は 20 周年ということで新たなチャレンジングな活動を行うことを推奨し、積極的な予算を組みました。ただそのような活動は予算作成時にはまだまだ不確定な部分が多いので、20 周年活動については予算化＝活動承認ではなく、執行時にも再度理事会承認を行うことも含めて総会にて承認を受けています。ご質問の事案も、理事会としては 20 周年事業としての認識でその確認をいたしました。
  - ◎ 本件経費は 20 周年のものでなく通常の経費として計上したものです。それに対して理事会で否決されたと認識しています。
  - 計上の状態を含め、認識の違いを正すことはできないと思うが、少なくとも当該事案について理事会として否決をした事実はありません。
  - ◎ 広報委員は動画 7 本作成を計画し 1 本公開し、2 本目以降の予算が理事とのやりとりで認められませんでした。補助資料の記載では、まるで広報委員が動かなかつたと読める記載だが、事実としては担当理事に何度も働きかけを行っていました。
  - 補助資料の修正はできないので、本質疑を記録として残すことといたします。
  - ◎ 理事会と（最高決定機関である）総会の関係を明確にして欲しいです。
  - 総会と理事会の関係の認識にズレはない。当該事案については、理事会のコミュニケーションが不十分だったと認識している。
- (2) 総会での質疑応答を記録して残して欲しい
- 総会での質疑、意見については昨年度も最初の理事会の中で、これから取り組む項目として明確にし、順次検討を行ってきており、それらについては議事録にて公開してきましたが、この場の記録という形では公開しておりませんでした。今後、何らかの形で実施いたします（※本資料がそれに該当します）
- (3) 補助資料にニューズレター発行が 2 回となり会員特典を満たしていないと記載がありましたが、会員特典を満たしていないと記載した根拠を教えてください。会員特典としてニューズレターは明記があるが、発行回数までは言及されていません。活動する広報委員への配慮をお願いしたい。
- 会員からニューズレター発行に関する要望があり、計画では 3 回発行となっていたものが実績としては 2 回であったことで、それに応えることができなかったことを伝える意図でした。
  - ニューズレター発行への要望に対するメッセージであり、広報委員が動いていなかったとの認識は持っておりません。
  - （本資料作成時補足）本件、表現として適切ではなかったと認識しております。

- (4) 賛助会員の導入を検討できないでしょうか。会員が FAJ の活動で求めていることは多様化しており（スキル、組織運営など）、スキルのみを求める会員は選挙や総会などに関心がない可能性が高く、会員のあり方に応じた会員区分あるといいのではと考えます。

- 理事会では賛助会員の議論はできておりません。今後の検討の参考にさせていただきます。

- (5) 2023 年度総会の修正動議を契機とした様々な議論を通じ、中長期的な FAJ の組織運営について理事はどのように捉えているか教えていただきたい。

（以下はあくまで会長の個人的見解で、理事会を代表したものではありません）

- いままでは個人事業などでファシリテーターとして活動する会員の団体として「会員個々の利益誘導を抑えること」に注力し過ぎていた感があったことで、中長期の課題への対応は確かに注力されていなかったのではないかと、と思っています。
- 今後は、ミッションへのストレートな動機に基づいて活動する団体として、FAJ は何を目的にした団体なのかを踏まえた経営をしていきたい。そうした意味では、レポートというかたちで情報共有することが大事だとあらためて感じた。”

### ＜第二号議案＞ 2024 年度事業計画並びに予算について

- (1) 理事会議事録で「～を確認した」で終わる議題があるのはなぜでしょうか。結論に至るプロセスが大切と考えます。

- 課題対応をしている理事より上がってきたものに対し、議論した結論が「確認した」となっております。ご理解ください。

- (2) 能登震災への寄付金を予算計画に入れていないのはなぜでしょうか。

- 今年度の寄付金（会員からの募金）は、継続して募集するものであり、見込額算出が困難であると認識したため、計上を見送りました。

- (3) 収入にある、民間助成金の中身は何でしょうか。

- 災害復興委員会で、公的団体が募集している災害支援活動に対する助成金に申請したものについて計上している。

- (4) 2024 年度の専門委員会に委員長を兼務している人がいます。兼務者に対する理事会のスタンスを教えてください。

- 理事会から本人に確認し、両委員会の活動に支障をきたさないよう、担当理事のサポートの他、委員会内での支援体制を検討いただくなど、負担軽減に努めてもらうことをもって承認しております。

- (5) スタッフ会議や FAJ 情報共有会での議論や、補足資料などにある会員からの意見、様々な課題が上がっているが、理事会としてこれが重要としている課題があれば、コメントいただけないでしょうか。

（以下はあくまで会長の個人的見解で、理事会を代表したものではありません）

- 第一号議案における質疑応答で回答した、中長期的な課題がそれとの認識です。

### ＜第三号議案＞ 2024 年度役員を選任について

議長より、挙手による質問を受け付けましたが、発言者はありませんでした

#### ＜第四号議案＞ 定款の一部変更について

- (1) この変更により、会員は総会資料の入手を紙か電子かを選択できるようになるのでしょうか。利便性などを考え、会員が選べるようにしていただきたい。
  - 現時点では、媒体の選択肢を増やすことだけを意図しています。今後、選択肢として選べるようにするかどうかは検討いたします。
- (2) 総会資料配布の電子化による費用効果はどのくらいあると計算していますか。
  - この定款変更は経費削減を意図した施策ではなく計算はしていない。
  - 参考として、総会資料の印刷・送付経費は 418,770 円、補足資料印刷は 17,771 円でした。

#### その他、質疑応答の中で、以下のようなご意見をいただきましたので、ご紹介いたします

- ファシリテーション・サミット富山 2024 の基調講演で紹介されていた、デジタル庁認定「Well-Being ファシリテーター」の養成と自治体向け派遣事業は、話題提供者からも FAJ との協業のご提案をいただく話もあるので、ぜひ取り組みを検討していただきたい。
- 広報委員会として、拠点やサロンの外向けの広報活動を、各拠点と連携して発信していきたい。その活動を協会として支援して欲しい。
- 社会課題においては、ごく一般の人に対する活動も大切であると考えます。そのような点も意識いただくようお願いします。
- プレスリリースのページを FAJ ホームページ内に作成することを要望します。長年、主張していますが実現されておらず、あらためてお願いします。
- 予算を削減するよりも収入を増やすことの検討をお願いしたい。
- Wikipedia に「ファシリテーション」の項目はなく、それを誰かがリードして作成することはできないでしょうか。その項目の一部に FAJ の HP をリンクさせることで検索が増え、FAJ の認知が高まるのではと考えます。(参考:「ファシリテーター」「ファシリテーショングラフィック」の項目は存在します)
- 総会の質疑応答の記録は、数年前は掲載があります。以前と同じようにすればよいのではないのでしょうか。
- 心理的安全性のないところにファシリテーションは大事であると考えます。そこにクサビを打つような取り組みができないかと感じました。
- 世の中では、高校生や大学生の自治会長が出ています。FAJ でも将来、学生理事が出たらよいと考えます。

以 上